

平成28年度当初予算案

ぐんま創生予算



平成28年2月4日(木)

群馬県

平成28年度群馬県当初予算(案)

総額 7,216億3,800万円 + 0.8%

平成27年度予算額(7,159億6,600万円)に対し、56億円の増

平成28年度は、新たな県政の羅針盤となる新総合計画、群馬県版総合戦略のスタートの年であり、3つの基本目標の実現に向け、13の政策を着実に推進

回復基調にある県内経済を支えつつ、人口減少社会にあっても、すべての県民が豊かに暮らせる社会づくりに向け、『ぐんま創生予算』を編成

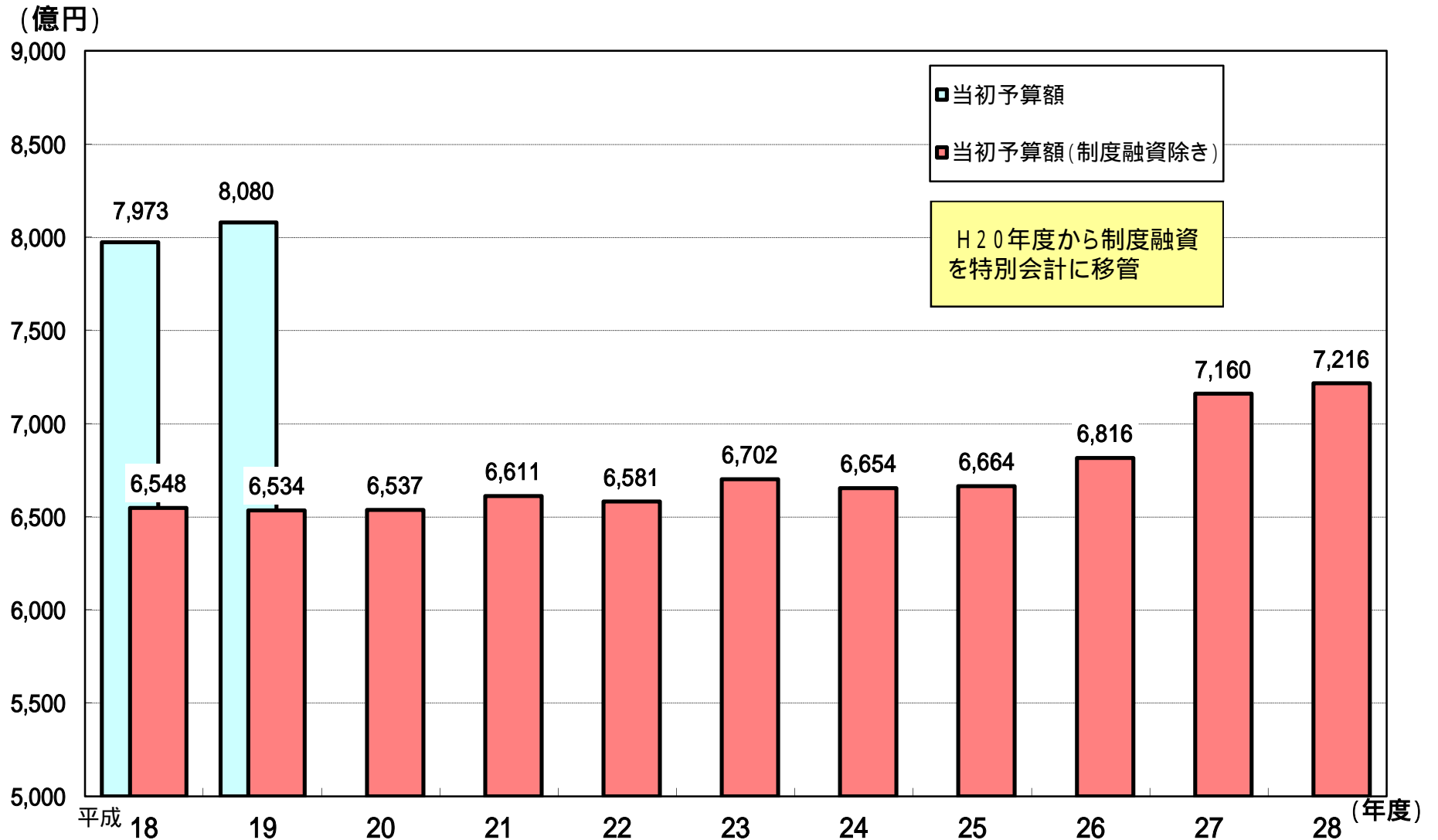
基本
目
標

1 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

3 産業活力の向上・社会基盤づくり

当初予算額の推移

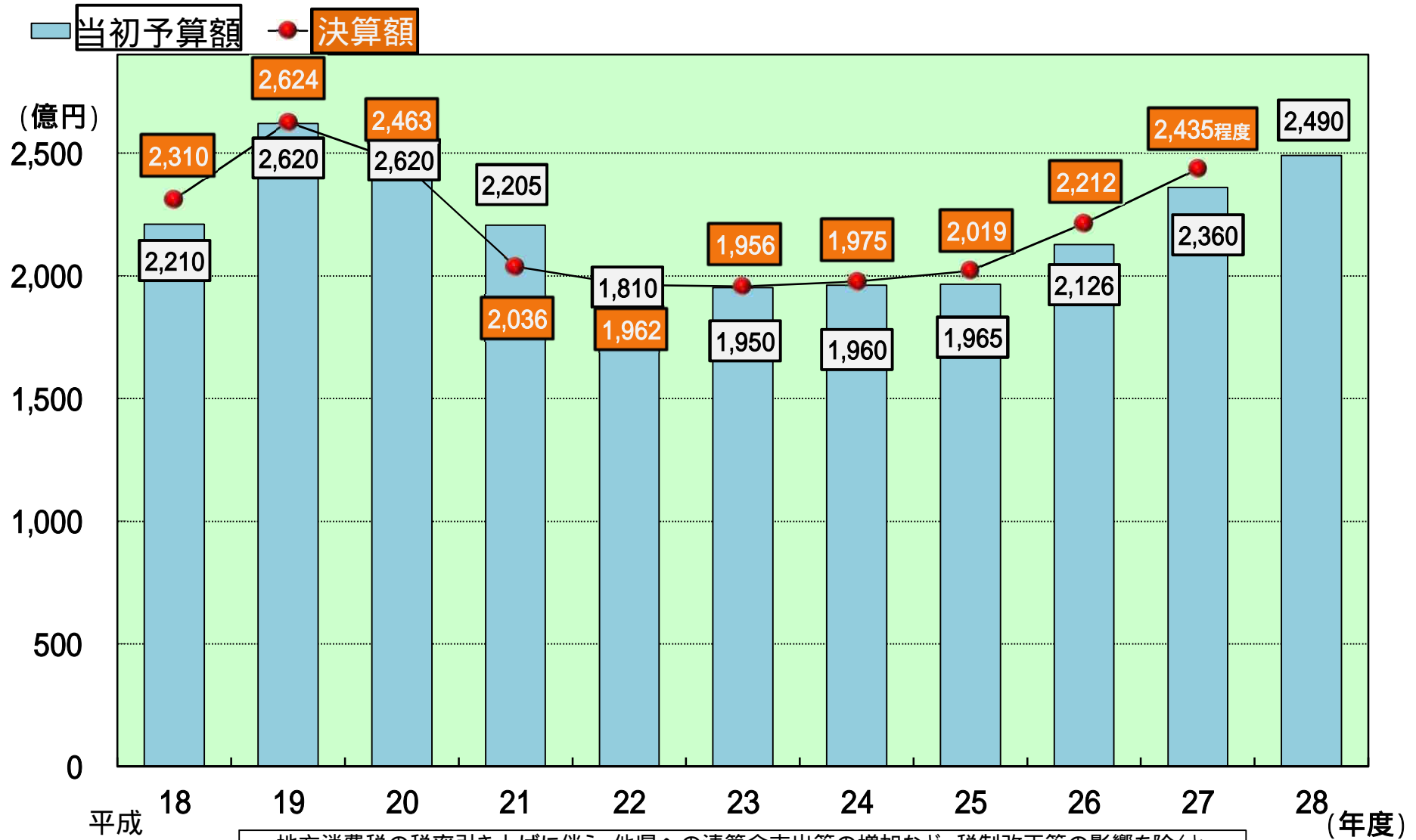


群馬県の主な財源の状況

	H26当初	H27当初	対前年度		H28当初	対前年度	
			増減額	増減率		増減額	増減率
			県 税	2,126 億円		2,360 億円	+ 234 億円
地方譲与税	361 億円	352 億円	9 億円	2.5 %	320 億円	32 億円	9.1 %
地方交付税	1,284 億円	1,268 億円	16 億円	1.2 %	1,256 億円	12 億円	0.9 %
県 債	998 億円	938 億円	60 億円	6.0 %	921 億円	17 億円	1.8 %
うち 臨時財政対策債	599 億円	476 億円	123 億円	20.5 %	395 億円	81 億円	17.0 %
うち 臨時財政対策債 以外	399 億円	462 億円	+ 63 億円	+ 15.8 %	526 億円	+ 64 億円	+ 13.9 %
基金繰入金 (財調・減債)	210 億円	168 億円	42 億円	20.0 %	211 億円	+ 43 億円	+ 25.6 %

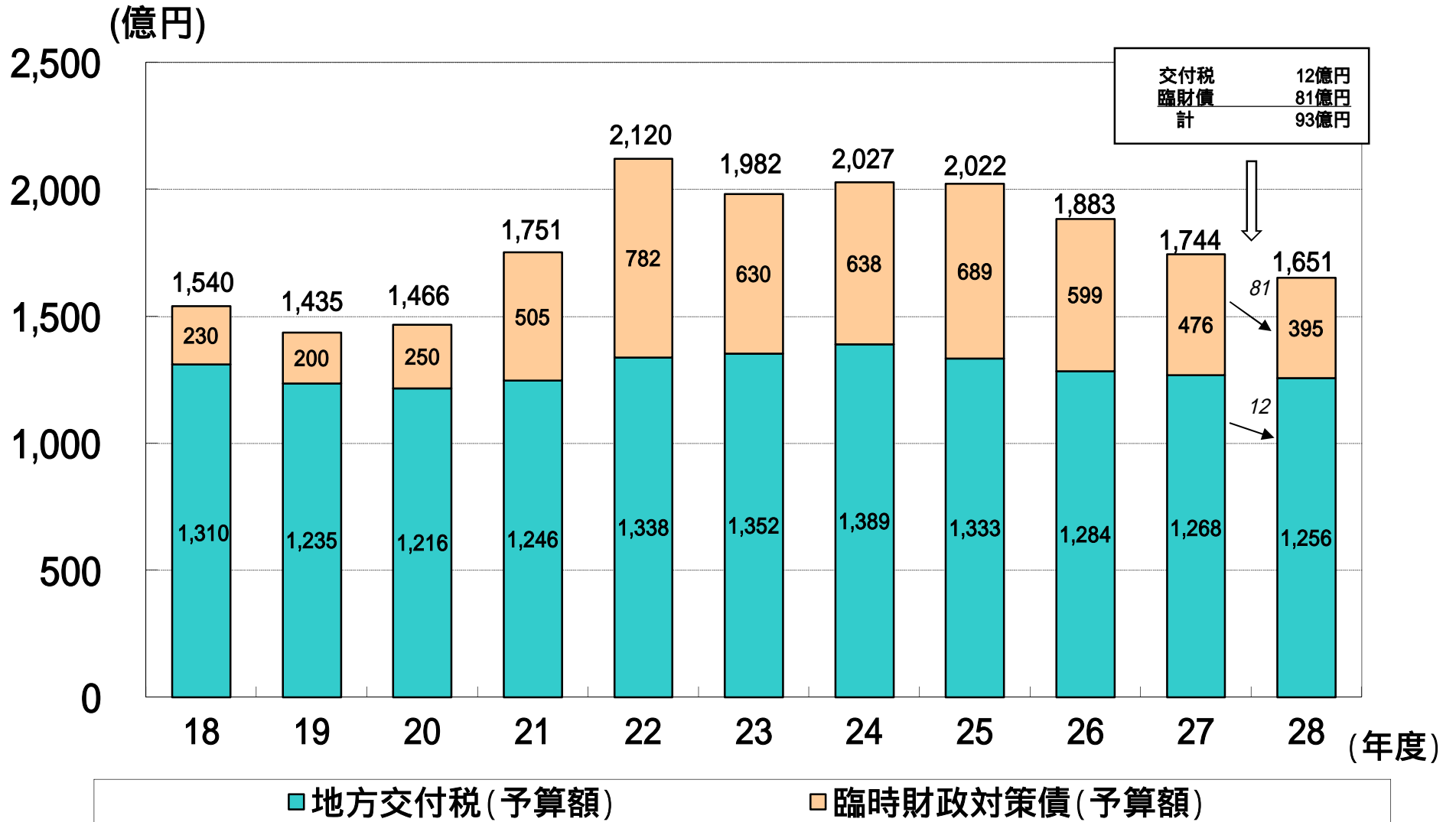
地方消費税の税率引き上げに伴う、他県への清算金支出等の増加など、税制改正等の影響を除くと、実質的な県税の対前年比は44億円の増。

県税の推移

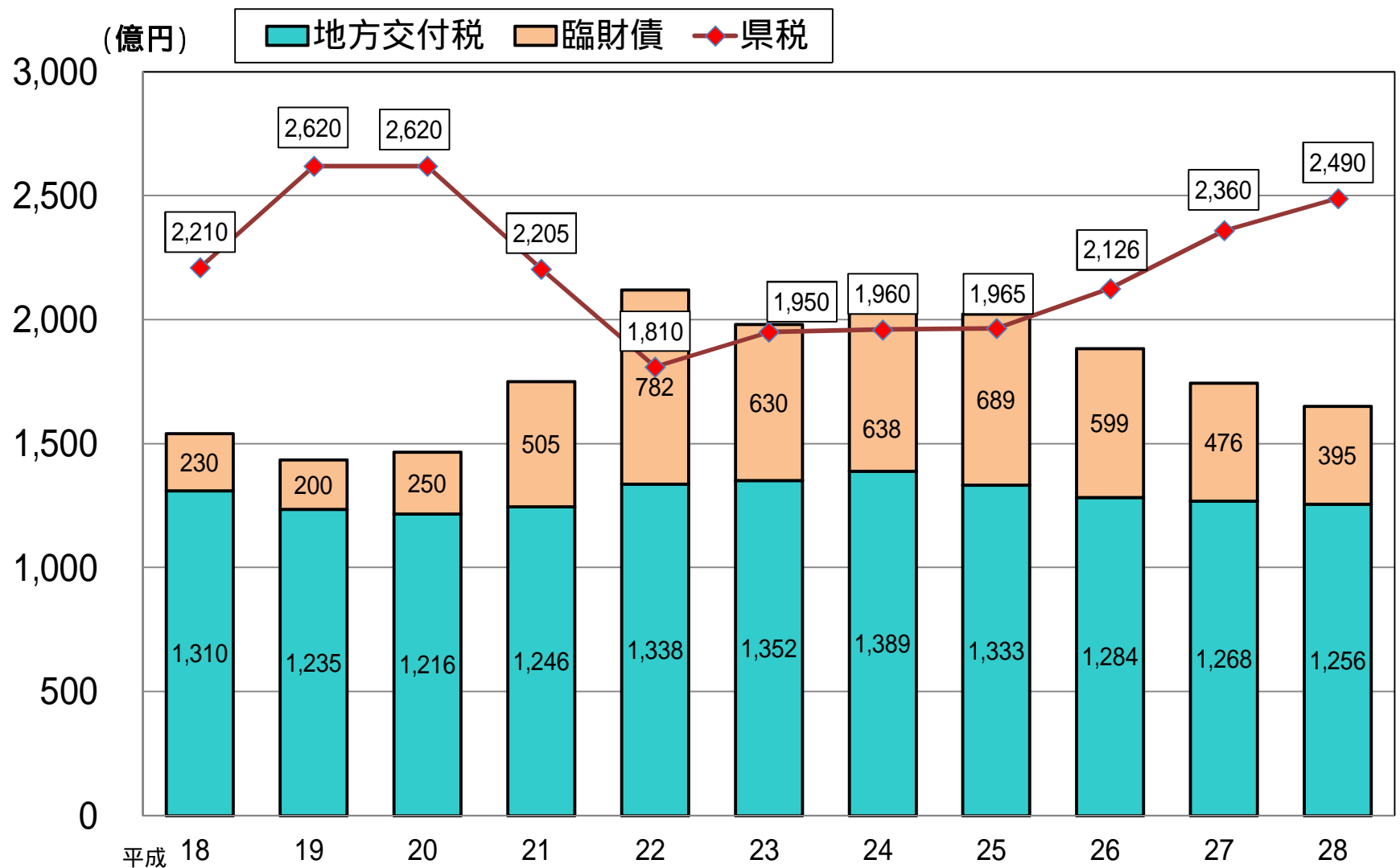


地方消費税の税率引き上げに伴う、他県への清算金支出等の増加など、税制改正等の影響を除くと、実質的な県税の対前年比は44億円の増。

地方交付税等の推移



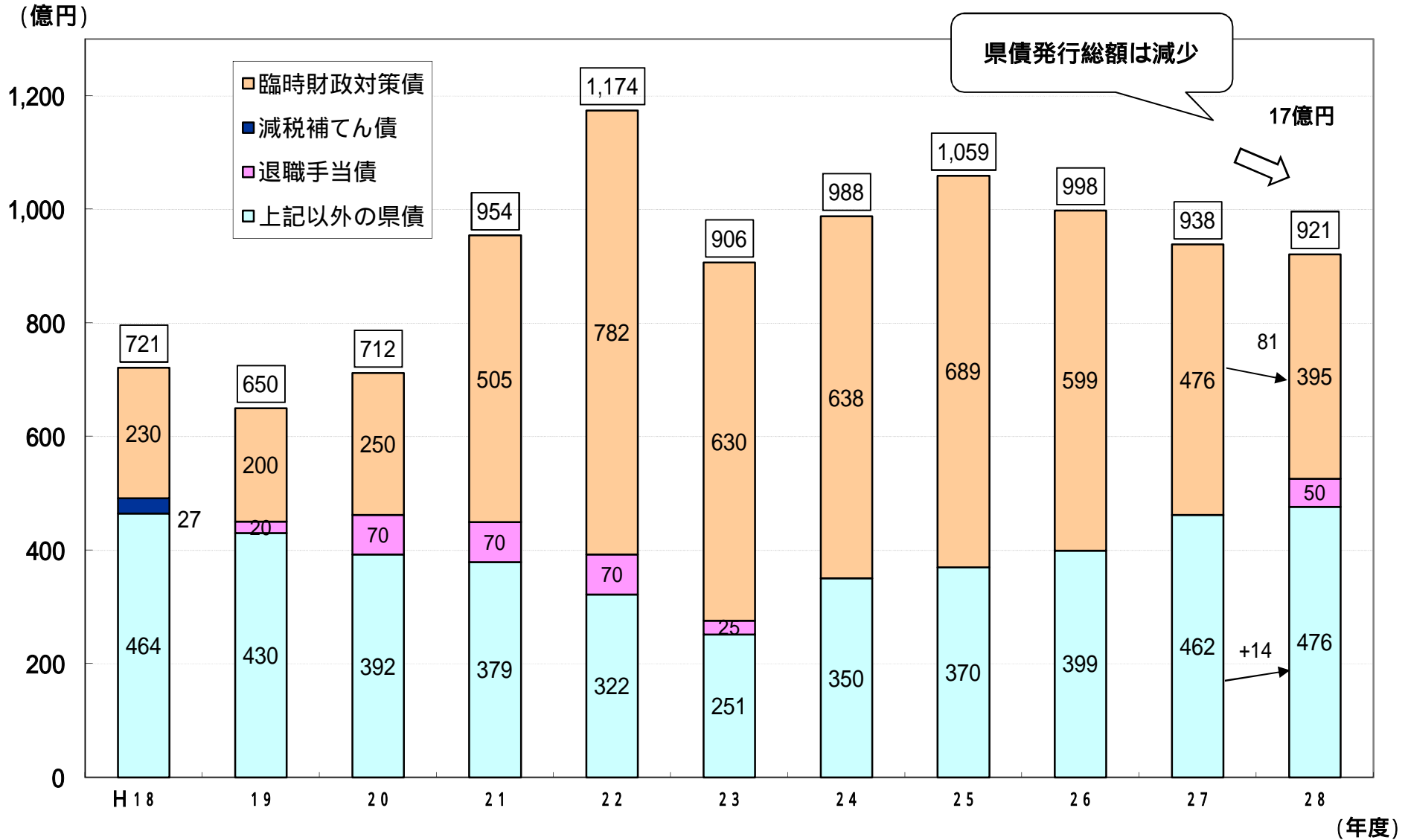
県税と地方交付税等の推移



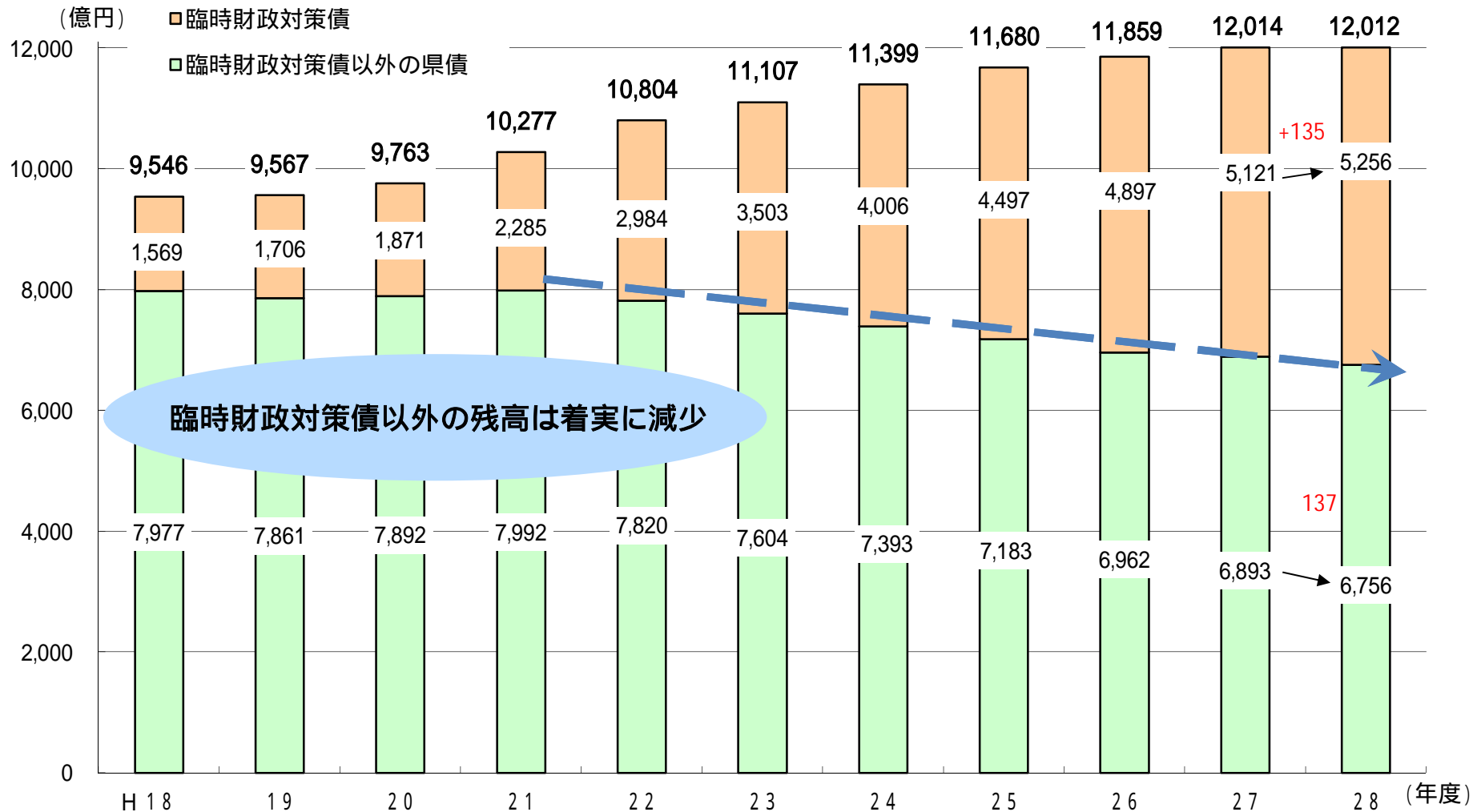
地方消費税の税率引き上げに伴う、他県への清算金支出等の増加など、税制改正等の影響を除くと、実質的な県税の対前年比は44億円の増。

(年度)

県債予算額の推移



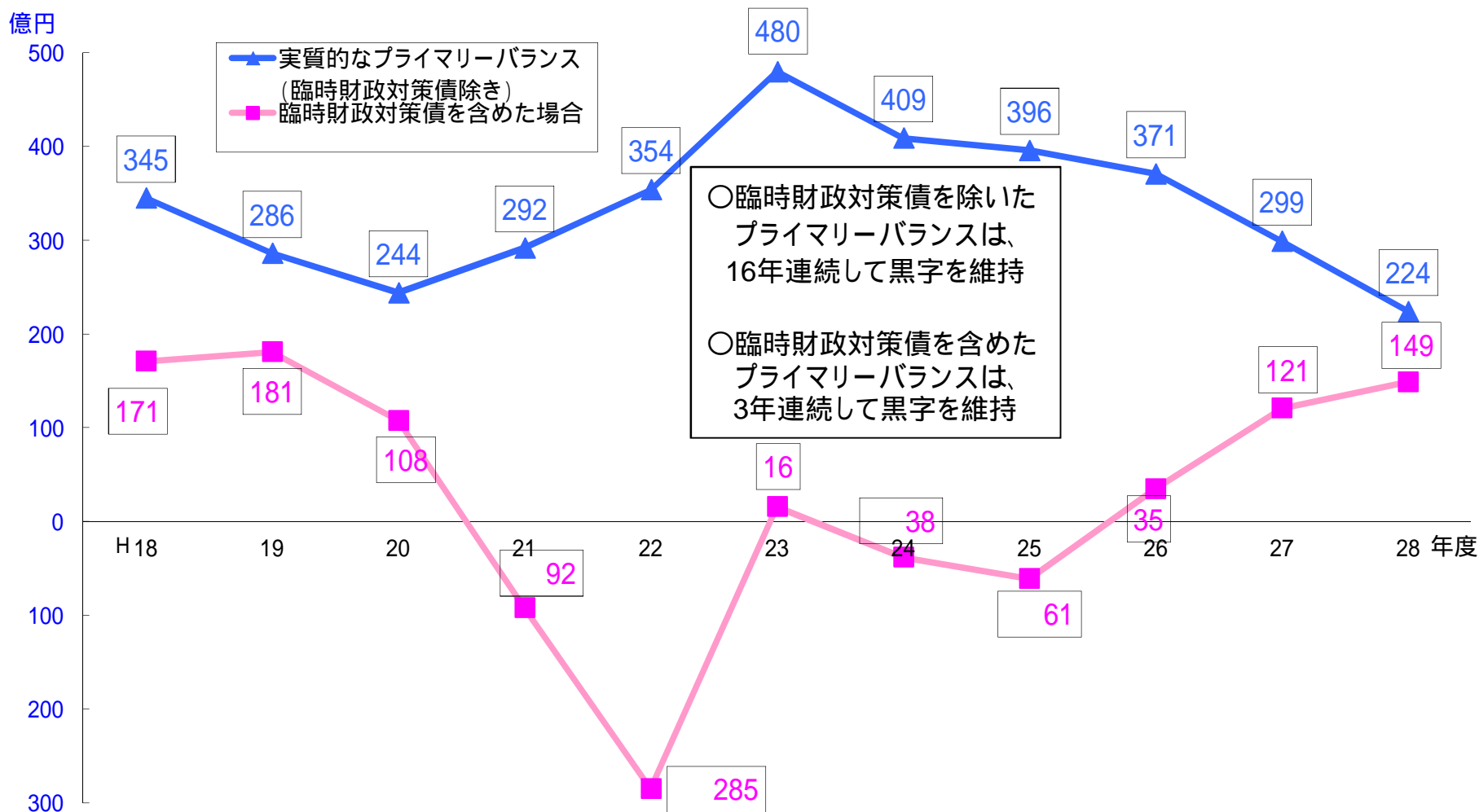
県債残高の推移



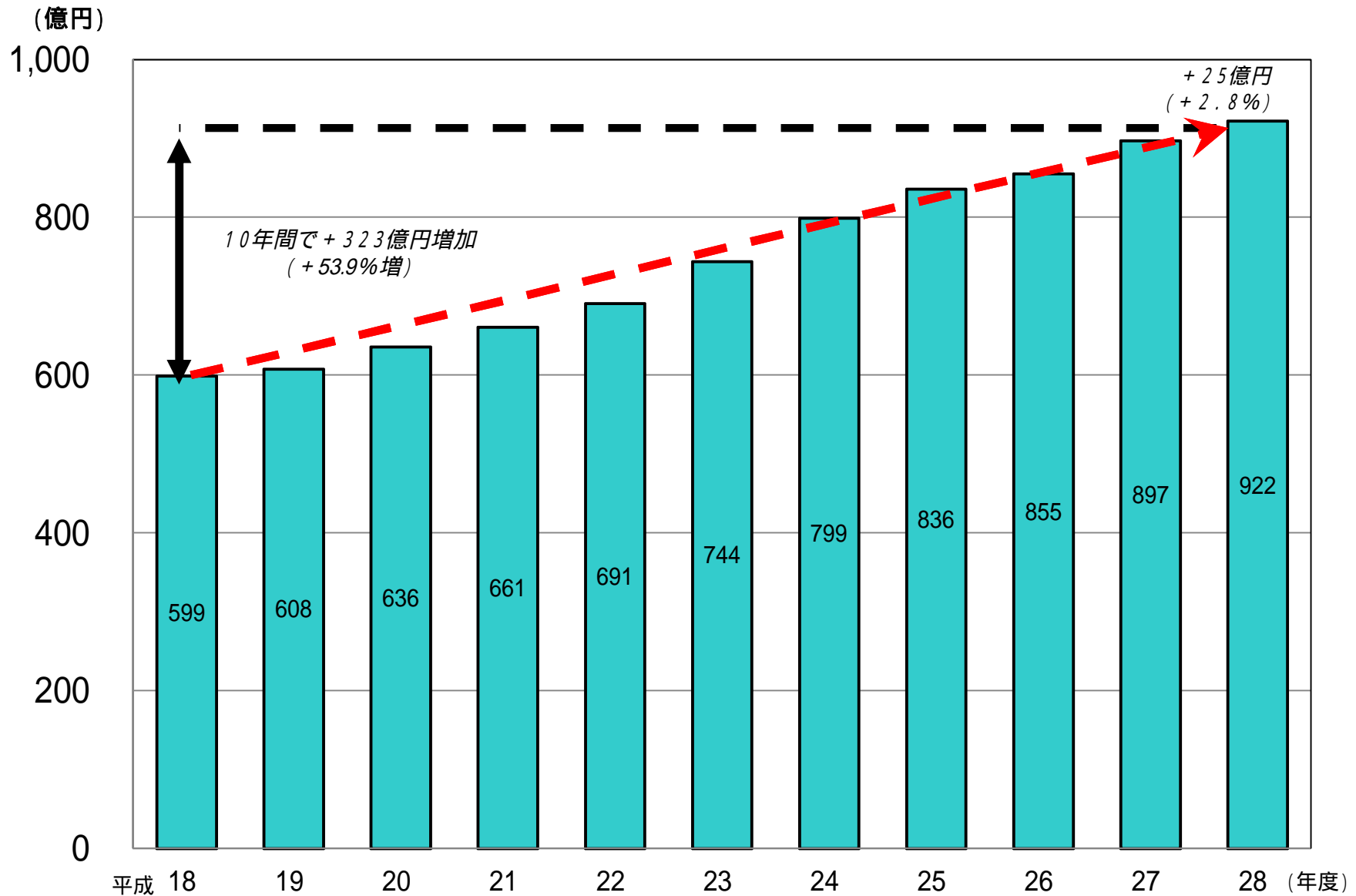
H26年度までは決算、H27年度は2月補正後、H28年度は当初予算ベース

プライマリーバランス(当初予算ベース)

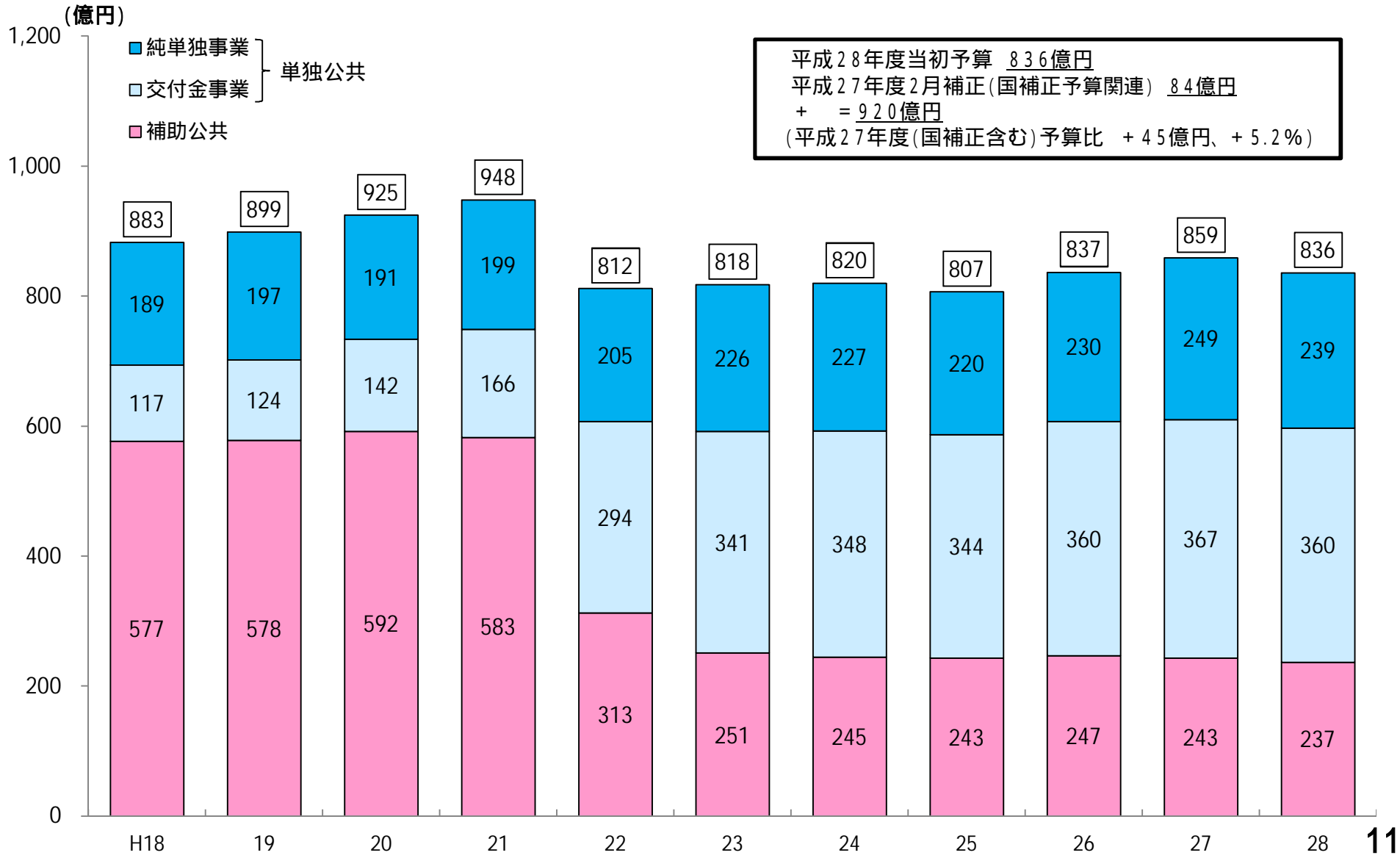
(歳入 - 県債) - (歳出 - 公債費)



主な社会保障関係経費の推移



当初予算における公共事業費の推移 (一般会計)



平成28年度当初予算の重点施策

1 子どもたちの学習環境の整備

人口減少社会が進む中、本県の未来を担う子どもたちのための学習環境を整備。

- ・すべての県立高等学校の空調が必要な教室に空調設備を計画的に整備。
- ・高等部の未整備地域の解消に向け、沼田特別支援学校の高等部整備に着手。
- ・小学校や中学校における少人数学級編成や、スクールカウンセラーの全校配置を継続。

主な事業

- ・(新規)県立高等学校空調設備整備
- ・(新規)沼田特別支援学校改築
- ・館林特別支援学校改築
- ・さくらプラン・わかばプラン
- ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー配置

2 本県への移住・定住の促進

本県への移住・定住を促進する取組を拡充。

- ・「ぐんま暮らし支援センター」(有楽町)において、移住相談に加え、就職に関する相談にも対応できるよう、相談員を増員。
- ・移住希望者に県内高校等の教育環境についての情報を提供できるよう、「ぐんまの高校ガイド」を作成。
- ・首都圏等の大学生の本県へのU・Iターン就職を支援する「Gターン全力応援」事業を実施。

主な事業

- ・(一部新規)ぐんま暮らし支援
- ・(新規)ぐんまの高校ガイド
- ・Gターン全力応援
- ・(一部新規)地域おこし協力隊の活動・定住支援

平成28年度当初予算の重点施策

3 誰もが活躍できる雇用の場の創出と就労の支援

若者や女性、障害者が活躍できるよう、雇用の場の確保と就労支援に取り組む。

- ・若者・女性などの雇用の場を創出するコンベンション施設の整備を進めるほか、中小企業の新たな産業分野への参入支援、農畜産物等の輸出促進に取り組む。
- ・障害者の生活の安定や就労の定着を図るため、新たに特別支援学校を拠点とした週末活動の支援を実施。

主な事業

- ・コンベンション施設整備
- ・働く女性支援
- ・(新規)「群馬県中小企業支援センター」の設置
- ・医療・ヘルスケア産業振興
- ・(一部新規)障害者の一般就労支援強化
- ・農畜産物等輸出促進

4 群馬の強みや魅力を活かしたイメージアップ

交流人口の増加につなげるため、自然や文化、温泉など本県の優れた資源を活かしたイメージアップに取り組む。

- ・豊かな自然を活かし、芳ヶ平湿地群の整備や上信越県境の稜線トレイルコースの活用検討・PRに取り組むほか、上野三碑の世界記憶遺産への登録推進など、文化を活かした取組も進める。
- ・温泉などの優れた観光資源を活かし、日本版DMOを設立して、関係者が一体となった観光地づくりを進める。ぐんまマラソンを開催し、より多くの県外からの参加を促進。

主な事業

- ・(新規)芳ヶ平ワイズユース促進
- ・(新規)稜線トレイル活用推進
- ・(一部新規)上野三碑世界記憶遺産登録推進
- ・(一部新規)東国文化周知
- ・(新規)「日本版DMO」設立推進
- ・ぐんまマラソン開催

群馬の未来を創生するための主な体制整備

1. 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

安心して妊娠・出産・子育てできる施策の推進と、群馬の未来を担う子ども・若者の育成のための体制整備

・「こども未来部」の新設

結婚から出産、子育て、青少年施策を更に強力に推進するため、子ども施策の司令塔的役割を担う「こども未来部」を設置

・「特別支援教育課」の新設（教育委員会）

「特別支援教育室」を「特別支援教育課」へ改組し、特別支援学校の高等部設置などの教育環境の整備や障害者の職業的自立を強力に推進する

・「県立大学法人化推進」（総務部）

少子化による大学間競争の激化が見込まれる中、県民に期待される役割を果たす魅力ある大学づくりを進めるため、女子大学と県民健康科学大学の平成30年度法人化移行に向け「県立大学法人係」を総務部総務課に設置

2. 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

医療と福祉の連携を強め、優しさの中で健康に暮らせる群馬づくりのための体制整備

・「地域包括ケアの更なる推進」（健康福祉部）

地域包括ケアの更なる推進を図るため、部長直轄の組織体制を整備するとともに、地域包括ケアを担当する副部長を設置し、施策を強力に推進する。（医療介護局を廃止）

3. 恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり

群馬の産業の強みを活かすとともに、未来を見据えた経済戦略のための体制整備

・「農業構造政策課」の新設（農政部）

T P P 発効後の国際競争を勝ち抜くことのできる農業の担い手支援や農地利用集積を強力に推進するため、「農業構造政策課」を設置

・「コンベンション推進」（企画部、県土整備部）

人・モノ・情報と呼び込む拠点となるコンベンション施設の開所に向けて、本格的に建設に取り組むため、「コンベンション推進課」に「建設係」を設置
コンベンション施設の周辺道路等の整備のため、高崎土木事務所にコンベンション周辺整備係を設置

第15次群馬県総合計画(案)

3つの基本目標

1 地域を支え、経済・社会活動を
支える人づくり

2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

3 恵まれた立地条件を活かした
産業活力の向上・社会基盤づくり

1 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

群馬の未来を担う子ども・若者の育成

- ・私立学校教育振興費補助(68億4,894万円)
- ・尾瀬学校(9,180万円)
- ・18歳以上選挙権の実施に向けた啓発事業(561万円)
- ・(新)県立高等学校空調設備整備(6億4,800万円)
学習環境の改善を図るため、すべての県立高等学校の空調が必要な教室に空調設備を設置
- ・(新)富岡・甘楽地区新高校整備(1億3,200万円)
富岡高校と富岡東高校を統合し、新高校を設置するための施設整備を実施
- ・(新)吾妻地区新高校整備(8,100万円)
中之条高校と吾妻高校を統合し、新高校を設置するための施設整備を実施
- ・さくらプラン・わかばプラン(12億5,145万円)
- ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置
(2億8,709万円)
- ・(新)公立大学法人制度移行準備(1,179万円)
県立2大学(女子大、県民健康科学大)
- ・(新)全国高等学校スキー大会開催(4,315万円) など



尾瀬学校



群馬の飛躍と地域の安心を支える職業人材の育成

- ・医師確保対策(3億4,714万円)
- ・介護福祉士修学資金等貸付(1,312万円)
- ・新規就農者確保・就農促進対策(2億6,200万円)

交流・移住・定着促進

- ・ぐんま暮らし支援(3,034万円)(2月補正)
- ・地域おこし協力隊の活動・定住支援
(500万円)(2月補正)
市町村が設置する地域おこし協力隊の受入体制整備と、任期終了後を見据えた起業・定住支援を実施
- ・若者就職支援(1億3,832万円)(2月補正)
Gターン全力応援、ジョブカフェぐんま運営
- ・ぐんまの高校ガイド(350万円)(2月補正) など



ぐんまちゃん家でのGターンカフェ

家族の理想実現

- ・特定不妊治療費助成(2億7,766万円)
- ・子ども医療費補助(39億5,529万円)
- ・結婚支援(904万円)
結婚応援パスポートや商工会議所等民間団体と連携した取組を展開
- ・第3子以降3歳未満児保育料免除
(3億4,936万円)
- ・働く女性支援(1,548万円)
ジョブカフェ・マザーズなど など



多様な人材の活躍応援

- ・女性の活躍推進(286万円)
- ・障害者の一般就労支援強化(6,595万円)
- ・手話施策推進(450万円)
- ・障害者雇用促進強化対策(4,472万円)
- ・シニア就業支援センター運営(1,200万円)
- ・(新)沼田特別支援学校整備(1億100万円)
- ・館林特別支援学校改築(2億7,300万円)
- ・特別支援学校職業自立推進(1,587万円) など

2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

安全な暮らし実現

- ・地域防災力パワーアップ支援(140万円)
防災士の資格取得に必要な講座を新たに県で開講
- ・振り込め詐欺等根絶対策(1,398万円)
- ・災害に強い県土を築く防災・減災対策(127億6,476万円)
局地的豪雨や台風による災害を未然に防止するとともに、被害の軽減を図るため、道路防災や治水対策、土砂災害対策を実施
- ・(新)耐震診断義務付け対象建築物耐震補強補助(1億1,990万円)
- ・警察官の増員(+20人)(4,289万円)
ストーカーやDVをはじめとした、人身の安全に関わる事案やテロ等国际情勢の変化に対応するための体制を強化
- ・交番・駐在所整備(1億3,460万円)
JR高崎駅西口の来訪者増加等に対応するための高崎警察署高崎駅西交番の新築整備、並びに富岡警察署上丹生駐在所の新築整備を実施
- ・特殊詐欺対策(4,500万円)
一般家庭に注意喚起するコールセンター事業を実施
- ・交通安全施設整備(16億7,364万円)

など

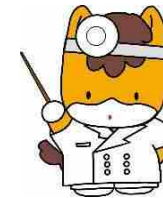


医療・福祉連携による優しいぐんま推進

- ・生活困窮者自立支援(6,915万円)
相談支援員の増員(7 10名)と学習支援事業の実施
- ・前橋赤十字病院建設事業費等補助(13億6,258万円)
- ・(新)骨髄移植ドナー支援(100万円)
ドナー休暇のない骨髄提供者への助成制度を新設
- ・福祉医療費補助(83億2,226万円)
- ・病床の機能分化・連携推進(2億7,209万円)
病床の機能分化・連携の推進のため、急性期から回復期への病床転換等に
必要な施設・設備の整備等に対して補助
- ・在宅要援護者総合支援(介護慰労金支給費補助ほか)
(1億1,200万円)
- ・地域密着型介護拠点等整備・開設準備経費補助
(15億9,074万円)
- ・老人福祉施設整備費補助(8億6,944万円)
- ・児童虐待対応強化(399万円)
子育て講座トレーナーの養成など
- ・小児医療センター外来棟増改築工事(4億8,000万円) など



前橋赤十字病院完成予想図



優れた群馬の環境の保全・継承

- ・(新)住宅用太陽光発電設備等導入資金(1億5,000万円)

太陽光発電普及のため、一般住宅向けの融資制度を新設

- ・(新)芳ヶ平湿地群ワイズユース促進(3,444万円)

ラムサール条約湿地に登録された「芳ヶ平湿地群」へのアクセス歩道の再整備と、PRパンフレットの作成

- ・ぐんま緑の県民基金事業(8億5,090万円)

- ・有害鳥獣対策(6億3,402万円)

- ・汚水処理施設整備費補助(6億8,726万円)

- ・ハッ場発電所建設(17億8,792万円)

など



芳ヶ平湿地群の全景



急傾斜地の森林整備(緑の県民基金・市町村提案型事業)



地域住民がともに助け合う「地域力」強化

- ・地域調整費(3億7,000万円)

地域の実情に応じた地域活性化の取組を支援

- ・地域おこし協力隊の活動・定住支援(500万円)(2月補正)(再掲)

など

3 恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり

群馬の未来を見据えた経済・雇用戦略の展開

- ・コンベンション施設整備推進(18億6,041万円)
- ・(新)ASEAN向け輸出促進(4,246万円)(2月補正)
茨城県、栃木県と連携して、ベトナムのショッピングモールにアンテナショップを出店
- ・農畜産物等輸出促進(4,538万円)(一部2月補正)
- ・(新)「群馬県中小企業支援センター」の設置(2,559万円)
経営支援と技術支援をワンストップで提供するため、群馬県産業支援機構を群馬産業技術センター内に移転
- ・企業誘致推進補助金(8億6,100万円)
- ・ベトナムとの経済交流(619万円)(2月補正)
- ・医療・ヘルスケア産業振興(5,963万円)(一部2月補正)
- ・(新)「日本版DMO」設立推進(1,200万円)(2月補正)
商工団体、農林漁業者等も含め、様々な関係者と連携した観光地域づくりを進めるため、DMOの設立を推進
- ・海外セールスプロモーション(2,243万円)(一部2月補正)
- ・産業団地等整備(27億2,400万円) など



欧州での県産農畜産物のトップセールス





群馬の産業の強みを活かす戦略

- ・林業・木材産業振興(7億4,540万円)
高性能林業機械の導入やバイオマス関連施設の整備を支援
- ・ぐんまの木で家づくり支援(3億3,590万円)
- ・担い手への農地集積・集約化(5億7,032万円)
- ・「野菜王国・ぐんま」総合対策(1億4,700万円)
- ・野菜価格安定(野菜生産出荷安定資金造成費補助)
(1億2,345万円)
- ・蚕糸業継承対策(6,079万円)
- ・県産農畜産物ブランド力強化対策(3,300万円)(一部2月補正)
- ・(新)畜産競争力強化整備(6億5,100万円)
収益性向上のための、家畜飼養施設の整備を支援
- ・小規模農村整備(6億6,000万円)
- ・< 中小企業振興資金特別会計 > 制度融資(591億2,583万円)
- ・(新)3県連携による先端ものづくり産業支援技術力強化
(6,240万円)(2月補正)
- ・千客万来支援(1億2,000万円)
- ・ググっとぐんま観光キャンペーン(1,800万円)(2月補正)
- ・(新)他県連携による広域周遊観光促進(6,919万円)(2月補正)
など

豊かな文化・魅力を活かしたイメージアップ

- ・「ぐんまちゃん」を活用したイメージアップ(3,348万円)
- ・文化財保存事業費補助(世界遺産関連)(2億1,326万円)
- ・上野三碑世界記憶遺産登録推進(864万円)
- ・歴史博物館リニューアルオープン(2億6,384万円)
- ・東国文化周知(1,218万円)

- ・(新)稜線トレイル活用推進(500万円)(2月補正)

新潟、長野県境の稜線ロングトレイルの整備や活用に向けて関係機関との検討や、モニターツアーの開催などのPRを実施。

- ・(新)スポーツライミング(リード)施設整備(365万円)

県総合スポーツセンター内にスポーツライミング(リード)施設を新たに整備

- ・キャンプ地誘致推進(240万円)
- ・ぐんまマラソン開催(5,560万円)

- ・金井東裏遺跡出土甲着装人骨等調査(4,335万円)

- ・古墳総合調査・古墳情報発信(1,205万円)

など



群馬の未来を支える社会基盤づくり

・公共事業費予算(H27国補正も含む) 920億円
(H27比 +45億円、+5.2%)

うちH28当初計上額 836億円(H27当初比 2.7%)

・補助 236億6,667万円(H27当初比 2.5%)

・単独 599億 157万円(H27当初比 2.7%)

・7つの交通軸を強化する道路整備の推進
(294億3,884万円)

県内の高速交通網の効果を最大限に活かすため、高速道路への
アクセス道路となる「7つの交通軸」を重点的に整備

・(新)上信自動車道渋川西バイパスの用地取得促進の
ための特別会計の活用(20億円)

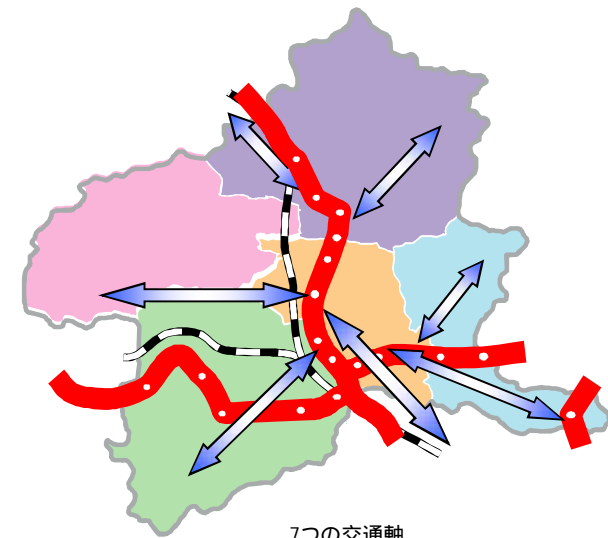
上信自動車道渋川西バイパス整備に向けた用地取得を進める
ため、県が国に代わって道路用地を取得

・ステーション整備(1,119万円)

・交通施設バリアフリー化推進(1,495万円)

・ハッ場ダム関連(64億1,702万円)

など



7つの交通軸